

徳力富吉郎画『八妍図』 10枚の版木、40度超の摺度数を重ねて仕上げた作品。「八妍図」の「妍」は「艶やかさ」「美しさ」を意味しています。彩色に濃淡を施す「ぼかし」という技術によって花の生命力、鮮やかな色合いや柔らかさ、繊細さ、葉の瑞々しさ、鉢の滑らかな光沢を表現しました。

販売価格 20,000円(税抜)

徳力富吉郎画『洛東清水寺雪景』 京版画独特の絵具と摺りを駆使し、京都の冬ならではのしっとりした雪景色を表現。ほの暗い空に舞う雪の部分は「浮かし」という技術を用い、胡粉をのせた絵筆の筆致を再現しています。柔らかく、どこか温もりのある冬景色に摺り上げました。

販売価格 15,000円(税抜)

徳力富吉郎画『ざくろ』 色紙仕立て用の小作品。手にとって眺めると、精巧な彫りや秋の実りの鮮やかな色合いが楽しめるように、細部も濃淡(「ぼかし」)により立体感を出し徳力先生の筆致を生かすように摺り上げました。

販売価格 3,000円(税抜)

平井 恭子

1996年京都精華大学美術学部版画専攻卒業。1998年から摺師・佐藤景三氏に師事。多彩な国際イベントで実演、ワークショップ講師を務める。2010年、2012年「文化財を支える伝統の名匠」展(文化庁)、同年次世代文化継承発展事業(会場:福知山高校)、同年、2013年国際交流基金主催・日本文化紹介事業(タイ・ラオス・米国)など。2014年「京もの認定工芸士」認定。

〒605-0844
京都市東山区六原多門町158
佐藤木版画工房
TEL.075-561-7833
HP <http://www.kyoto-matukyu.jp/>(まつ九)
Eメール satokoubou@helen.ocn.ne.jp



嵯峨美術短期大学(現・京都嵯峨芸術大学)で版画を専攻したのち、京都精華大学に編入、さらに版画を学ぶ。卒業後は伝統木版画摺師・佐藤景三氏に師事。機械印刷にはないやわらかな風合いと優しさ・緻密さが特徴の京版画は、絵師、彫師、摺師がそれぞれの才を發揮して成立します。伝統を重んじ、先人が培った技術を継承しながらも、現代人の心に響く魅力的な作品を、京都から世界に発信していきたいと思っています。

◆京もの認定工芸士とは…

京都の伝統工芸品(京もの)の製造に従事し、特に優れた技術を有した意欲ある若手職人に京都府知事から授与される称号。



京もの認定工芸士 第99号

ひらこ
きょうこ
平井 恭子